機械器具 50 開創器又は開孔用器具
一般医療機器　開創器　13373001

シャドーリトラクタ

【警告】
① 本品を使用した開創時には、必ず固定ネジを締めること。[鉤部が不用意に閉じ、手術の進行が不能となるおそれがある]
② 本品表面に衝撃や振動を用いて印を刻み込む等の二次加工はしないこと。[折損の原因となる]
③ 本品を変形あるいはキズをつける等の粗雑な取扱い及び改造を行わないこと。[製品の寿命を著しく低下させる]

【禁忌・禁止】
① 本書記載の【使用目的又は効果】以外の使用目的には使用しないこと。[誤った使用方法は本品の折損その他予期せぬ事象を招くおそれがある]

【形状、構造及び原理等】

1. 概要

本品は、アーム及びこれと一体となった第一の鈎、及びアームにスライドして可動する第二の鈎をもつ開創器であり、可動部に取り付けられた固定ネジによって、第二の可動鈎を固定する。なお、鈎の創部接触面には、粒子状のダイヤモンドダストコーティング（タングステンカーバイド）が施されている。

2. 形状、構造



＜製品一例＞

3. 原理

本品のアームに取り付けられた可動鈎が移動することによって、開創部を固定する。

4. 組織・体液に接触しうる部位の原材料

本体：ステンレス鋼
創部接触面コーティング：タングステンカーバイド

【使用目的又は効果】

手術時、皮膚・皮下組織・筋等の組織を圧排・開大する。

【使用方法等】**

（設置方法）

1. 本品の固定ネジを緩め、本品を開創部に設置する。
2. 可動鈎の位置を調整することによって、適切な開創幅を得る。
3. 固定ネジを締め、可動鈎を固定する。

（撤去方法）

1. 本品の固定ネジを緩め、可動鈎をゆっくりと元の格納位置まで戻す。
2. 本品を開創部から慎重に取り除く。

本品は出荷時、未滅菌であるため、使用前及び再使用前には適切な方法で洗浄し、以下の条件又は各医療機関で検証された条件により高圧蒸気滅菌を行い、滅菌後の無菌性の保証については、各医療機関にて行うこと。

洗浄・滅菌方法の代表例

以下に洗浄・滅菌方法の代表例を示したが、洗浄・滅菌に当たっては院内の規定に従うこと。

洗浄方法代表例

(1) 製造元の指示に従い、医療機器用の中性洗剤を準備する。
(2) 柔らかい毛のブラシあるいは柔らかく清潔な布で、洗浄液に浸したまま手で本品を洗浄する。可動部は念入りにブラシで洗浄する。
(3) 温水で少なくとも 1 分以上流し、十分にすすぐ。
(4) 洗浄後、目視にて血塊等がないことを必ず確認する。
(5) 清潔な柔らかい布を用い、完全に水気を取る。

滅菌方法代表例

高圧蒸気滅菌（日本薬局方／微生物殺滅法）
１１５～１１８℃　３０分間
１２１～１２４℃　１５分間
１２６～１２９℃　１０分間

【使用上の注意】*

1. 重要な基本的注意

(1) 本品は特に取り扱い、洗浄・滅菌方法、保存状態により、腐食、損傷、破損、掻きキズなどを生じさせる恐れがあるので注意すること。又、異常が見られる状態（腐食、ひび、欠け、曲り、磨耗）では使用しないこと。
(2) **①本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。**
②本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその感染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。
③本品がプリオン病の感染患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った対応を行うとともに、プリオン不活性化に必要な洗浄、滅菌が行われないまま別の患者に使用されることがないようにすること。
［令和 3 年 7 月 13 日 医政総発 0713 第 1 号/医政地発 0713 第 1 号/健難発 0713 第 3 号/薬生機審発 0713 第 1 号/薬生安発 0713 第 1 号/薬生監麻発 0713 第 21 号に基づく記載］*

機械器具50開創器又は開孔用器具
一般医療機器　開創器　13373001

シャドーリトラクタ

【保守・点検に係る事項】

・日常点検及び使用前点検を行い、正常に作動していることを必ず確認すること。
・本品の使用後は血液、体液が乾燥する前に直ちに洗浄を行うこと。
・血液や残片物を取り除き、稼動部分が全て十分に洗浄されているかを確認すること。また、洗浄時に他の器具との接触による損傷をさせないように配慮すること。
・洗浄後は直ちに乾燥させ、湿った状態で必要以上に長時間放置しないこと。ステンレス鋼は錆びにくい材質ではあるが、保存条件によっては腐食が発生することがある。
・本品が漂白剤、消毒液等の塩素及びヨウ素を含む溶液にさらされた場合には、直ちに流水で洗浄すること。

この添付文書は、本品を安全にご使用いただくためのものです。
この添付文書をよくお読みになり、内容を十分ご理解された上で
ご使用ください。

【主要文献および文献請求先】*

令和元年度厚生労働科学研究「プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する研究班」及び日本神経学会
「プリオン病感染予防ガイドライン（2020年版）」
http://prion.umin.jp/guideline/pdf/cjd_2020v6.pdf
［令和3年7月13日 医政地発0713第2号/健難発0713第1号より］

【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称等】*

〔製造販売業者〕
高砂医科工業株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-2

お問い合わせ窓口：
TEL:03-3815-0156　FAX:03-3815-5361